

# みどりの風

令和6年6月26日発行 No.5

校長 池田 誉

## 他校の友達と交流しました

今年度、勝山中学校区の小学校では、学校同士の交流を積極的に行っています。

6月6日(木)には、1・2年生が月田小と美甘小の1・2年生と真庭市立中央図書館の見学に行きました。3校合わせて18人の児童と一緒に見学を行うことにより、各校の引率者が他の学校の児童も含めて目が届きやすくなり、安全面でもメリットがあります。初めて会う他校の友達との対面にやや緊張気味でしたが、だんだん慣れて、見学しながら他の学校の友達とも言葉を交わす場面も見られました。図書館のいろいろな設備を見せていただいたり、司書の先生が出すクイズに答えたりして楽しい時間を過ごしました。

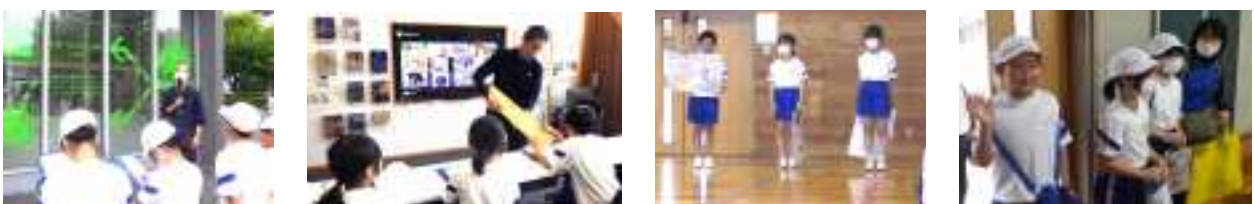


6月17日(月)には、3・4年生が月田小・美甘小と「バイオマス合同見学」に行きました。この取組は始まって4年目になり、市内のバイオマス関連施設の見学に加え、3校の交流を深める機会となっています。4年生は昨年に続いて2回目なので、すでに顔見知りの友達もいます。3年生は初めてですが、美甘小とは1年生のときに一緒に勝山の見学に行っており、久しぶりの再会となりました。

今回見学したのは、真庭市役所本庁舎のバイオマスボイラー、西河内の「真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合(液肥化プラント)」、勝山の銘建工業株式会社本社事務所です。それぞれの見学場所で、熱心にメモをとりながら真剣に説明を聞く児童の姿が見られました。

見学後は月田小に移動し、3校で一緒に給食を食べ、その後体育館での交流会を行いました。自己紹介や各校の様子を発表、体を動かすゲームを通して交流しました。

各学年で年に1～2回の交流を行うことで、顔見知りも増え、お互いの距離も縮まっている実感があります。オンラインでの交流も含め、今後さらに他の学校とつながる機会を増やし、経験を積み重ねていきたいと思えます。



## 学校運営協議会&地域学校協働本部総会 ありがとうございました

6月5日(水)に今年度第2回目の「富原小学校 学校運営協議会」を行いました。 昨年度設置された学校運営協議会では、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」づくりについて協議を行っています。

今年度の委員は次の方々です。(敬称略)

家元重之(民生委員児童委員) 米山 孝(富原福祉のむらづくり委員長)  
平内基広(民生委員児童委員) 海野文雄(地域学校協働本部推進委員)  
福田慶子(学校支援ボランティア) 宮田晋作(PTA会長)  
三崎志保(富原保育園長) 池田 誉(校長) 頼信百合子(教頭)

4月16日(火)の第1回の会議で今年度の学校経営方針や活動計画について確認し、2回目の今回は、授業参観を行い、児童の様子を見ていただきました。また、教職員と懇談を行い、情報交換や連携に向けての取組の確認をしました。



また、6月18日(火)には「富原小学校 地域学校協働本部」総会を行いました。「地域学校協働活動」とは、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。富原小学校では、令和3年度から学校支援ボランティアを募集し、教育活動を支えていただいています。年に2回の総会を行い、活動方針の確認や児童との交流を行っています。

今回は16名の方が参加してくださいました。最初に、5月から始まったボランティアの方による低学年の放課後見守り活動を全員で体験していただきました。読み聞かせやこま回し、けん玉、百人一首の昔遊びを通して、児童と楽しい交流ができました。

その後、総会を開き、今年度の活動について意見交換をしました。参加者のご意見から、地域と学校で一体となって子どもを育てようという気持ちが伝わってきました。

地域学校協働活動は、学校が地域の方の力を借りるだけでなく、学校を舞台として、子どもたちと地域の方が一緒に活動することで、参加して下さる方もやりがいを感じていただけるのではないかと思います。

学校運営協議会、地域学校協働本部とも、「地域とともにある学校」実現のための大切な仕組みです。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

